

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-4  
障がい者の自立支援

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

障がい福祉課長 半場 祐子

電話番号

0852-22-6256

事務事業の名称	障がい児施設等給付費	
目的	(1) 対象	障がい児
	(2) 意図	施設において障がい児の保護、養育を行う。また障害児通所支援を提供する市町村に対して負担金を交付する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児の保護、養育を行うために、障がい児入所施設に措置した児童や施設給付決定を受け、契約により入所した児童に係る給付を行う。</li> <li>障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）を提供する市町村に対して負担金を交付する。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		10.0	11.0	11.0	12.0	市町村
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値	10.0	11.0	11.0			
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	110.0	100.0	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	951,023	977,422
うち一般財源 (千円)	663,173	698,477

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 障害児入所施設への給付は、適切に行われている。
- 障害児通所支援事業所は、平成30年6月1日現在で11市町83事業所となっており、1年前に比べ8事業所が新規参入し、増加している。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・通所支援事業所は、松江市、出雲市を中心に着実に増加しており、県西部でも新規の事業所が立ち上がっている。これにより、身近な地域で必要なサービスを受けることができる体制が整備されつつある。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- 地域によっては、身近な場所に通所支援事業所がないため、必要なサービスを利用できない、あるいは、遠方の事業所を利用している児童がいる。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 安定した運営を行うための一定数の利用者が見込めないため、実施する事業者がない。

### ③原因を解消するための「課題」

- 地域における利用ニーズを把握し、事業所設置について検討していく必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 各市町村で構成する協議会などで、圏域において必要な通所支援サービスのニーズを把握し、必要な社会資源を整備していくことができるよう、引き続き市町村等に協力を求めていく。